

あしよる

広報

2013

NO. 727



- 功績をたたえて
- 世界に羽ばたけ！足高生

功績をたたえ

11月3日、町の発展などに功績のあった方々への功労賞、文化賞、スポーツ賞などの表彰式が町民センターで行われました。



足寄町功労者表彰式



足寄町文化賞・スポーツ賞等表彰式

自治功労



菊地 一将きくち かずまさ
上利別・76歳

昭和58年5月1日から平成23年4月までの7期28年にわたり、町議会議員として、また平成15年から2期8年にわたり町議会副議長として地域の振興に尽力されました。特に、文教厚生常任委員会委員長および総務建設常任委員会委員長等の要職を歴任するなど、豊富な経験と卓越した識見をもって町政の発展に寄与されました。

産業経済功労



故 本間 隆ほんま たくし
喜登牛

平成5年から12年間にわたり足寄町開拓農業協同組合の監事、理事を歴任され、農家の営農相談や新規就農の誘致をはじめ、再建組合となった組合の負債整理を進め、足寄町農業協同組合との合併に尽力されました。また、平成8年に発足した足寄町放牧酪農研究会では、発足当初から副会長として、平成20年からは会長として放牧酪農の実践に取り組み、新規就農希望者の研修を積極的に受け入れるなど、本町の酪農の振興発展に寄与されました。

社会福祉功労



高橋 和夫たかはし かずお
芽登本町・72歳

昭和37年4月から平成25年3月までの51年間にわたり、消防団員として消防、防災活動に精励し、地域住民の尊厳や生命や財産を守ることに尽力されました。特に、平成10年4月から足寄消防団第3分団分団長として、豊富な知識と長年の経験に基づいた災害対応力を遺憾なく発揮し、消防団員の指導と育成に尽力されるなど、消防団の向上発展と治安維持に寄与されました。



故 西川 静香にしがわ しずか
南7条2丁目

平成14年4月から平成25年1月までの10年余りにわたり、保護司として犯罪や非行を犯

善行賞



小林 雪野こばやし ゆきの
南2-5・89歳

旧家政学院の解体費として250万円を寄附され、地域の振興発展に寄与されました。

文化賞

個人

大須賀 白おほすげ しら(西町9)

昭和62年4月から平成5年3月まで足寄町文化協会事務局次長として、また平成5年4月から平成7年3月まで同会会計、平成7年4月から平成15年3月まで同会事務局長、平成15年4月から平成19年3月まで同会副会長、平成19年4月から平成25年3月まで同会会長として本町の文化振興発展に尽力されました。

文化奨励賞

個人

前谷 典子まえや のりこ(南5-16)

第38回全道民謡民舞大会寿年一部優勝

星 勉ほし つとむ(郊南1)

昭和49年11月に北海道民謡協会に入会以来、長年にわたる三味線・民謡の伝承に努めるとともに、平成23年4月から現在まで足寄町文化協会副会長として本町の文化の振興発展に尽力されました。

南田 美紀みなた みき(旭町1)

第64回文部科学省認定社会通信教育修了者表彰書写技能基礎講座(楷書編) 文部科学大臣賞

大野 周一おの のいち(南7-14)

平成20年度に町立足寄小学校に赴任以来、同校ジュニアプラスバンドの顧問を務め、北海道吹奏楽コンクール帯広地区大会において金賞を受賞し、地区代表として北海道吹奏楽コンクールに出場を果たすなど、優れた成績を収めました。その優れた指導力と豊かな音楽性は高く評価され、本町の音楽文化の振興に寄与されました。

ジュニア文化奨励賞

個人

伊藤 美咲いとう みさき(足寄中3年)

第55回十勝子ども大会書道の部特選

人見紗有里ひとみ さゆり(螺湾小2年)

お母さんの似顔絵コンクール最優秀賞

三津橋奏和みつはし そうわ(大誉地小2年)

第55回十勝子ども大会美術作品の部特選

団体

足寄ジュニアプラスバンド

第58回北海道吹奏楽コンクール帯広地区大会小学校の部金賞

スポーツ賞

個人

平野三千子ひらの ちとせ(南6-14)

第48回北海道弓道錬教士選手権大会錬士の部第1位

ジュニアスポーツ賞

個人

岡田 翔おかだ しょう(帯広工業高1年)

平成24年度北海道中学校体育大会第43回北海道中学校スケート・アイスホッケー大会男子3000m・5000m第1位

ジュニアスポーツ奨励賞

個人

丸山 智子まるやま ともこ(足寄中3年)

第17回十勝選手権水泳競技大会女子15歳50m・100m背泳ぎ第1位

した人の社会復帰や更生を助けるとともに、地域の犯罪・非行防止活動の推進に尽力されました。また、平成16年4月から平成24年3月まで足寄町介護者の会長として「宅老さくらんぼ」を開設し、介護者の支援と介護ボランティア活動の発展に努めるとともに、高校生ボランティアの受け入れを行い、将来を担う世代の育成に取り組むなど、本町の社会福祉の向上に寄与されました。

櫻井 牧歩さくらい まきほ(足寄中3年)

第32回全十勝中学校水泳大会男子100m・200m平泳ぎ第1位

長田 剛彦ながた つとむ(足寄中3年)

第24回根室ジュニア水泳選手権大会男子13・14歳400m自由形第1位

千葉 衣織ちば えり(足寄小5年)

第17回十勝選手権水泳競技大会女子9・10歳50m・100m・200m背泳ぎ第1位

青木 梨奈あき りな(足寄小5年)

第2回オホーツクスプリント水泳競技大会女子9・10歳100m背泳ぎ第1位
第17回十勝選手権水泳競技大会女子9・10歳100m自由形第1位

足寄高等学校弓道部女子

平成25年度第48回北海道高等学校弓道競技選手権大会十勝支部大会女子団体優勝

世界に羽ばたけ！足高生

— 足寄高校生海外研修派遣事業 —

カナダ

- エドモントン
- ★ウエタスキウィン

- カルガリー

- バンクーバー

◎オタワ

アメリカ合衆国

アメリカ合衆国



本年度からスタートした足寄高校生海外研修派遣事業は、9月29日から10月6日までの日程で、姉妹都市先であるカナダ・ウエタスキウィン市などを訪れました。

同校生徒43人と引率・随行者7人の50人からなる訪問団は、ウエタスキウィン・足寄友好協会の心温かい歓迎を受け、ホームステイや学校訪問を通して、さまざまな人との出会いや異文化を体験しました。

生徒たちは、この研修に参加し、未来につながる大きな成長を遂げたようです。

主なスケジュール

- 9/29(日) 足寄町→成田空港→バンフへ
- 30(月) バンフ→カナディアンロッキーなどの大自然を見学→ジャスパーへ
- 10/1(火) ジャスパー→ウエタスキウィン
歓迎 BBQ 夕食会、ホームステイ
- 2(水) 高校訪問、ホームステイ
- 3(木) ウエタスキウィン市内視察、返礼夕食会、ホームステイ
- 4(金)ー5(土) ウエタスキウィン→成田空港
- 6(日) 羽田空港→足寄町

小林 コニー(2年)

カナダではカナディアンロッキー、ペイトー湖、コロンビア大氷原、レイク・ルイーズ、アサバスカ滝等を見学しました。予想以上に寒かったですが、カナダの大自然に触れることができました。今年のカナダは寒いのか、ウエタスキウィン市に着いて2日目、9月30日の朝、外にはうっすらと雪が積っていました。

私がお世話になったホストファミリーの人たちは私たちを温かく迎えてくれました。自分の英語がきちんと通じるのか心配でしたが、思っていたより会話ができて安心しました。カナダの高校訪問では、たくさんの人たちと交流することができました。



このカナダ研修は私にとっても忘れられない思い出となりました。

菅野 祐也(1年)

私のカナダ研修でのホームステイの体験をお話しします。私のホームステイ先は両親と高校生の子ども、祖母の4人家族で、家は日本ではあまり見られない平屋の大きな家で、カナダでは高校生の生になるとすぐに自動車の免許を取得できるようで、同年代の高校生の車に乗せてもらいドライブをしました。



ホームステイは3泊4日の短い期間で、触れ合う時間が少なくもっとカナダの家族と触れ合い、学びたかったです。しかし、今回のカナダ研修は忘れられない思い出となりました。この経験を今後に生かせればと思います。

貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

大柴 楓(1年)

今回のカナダ研修は、私にとって大きなものとなりました。カナダの良さを知ると同時に、あらためて日本の良さも知ることができました。

ホームステイでは、家族の皆さんが温かく迎えてくださいました。言葉の壁はありましたが、ジェスチャーや知っている単語を使い、乗り越えることができました。その他にも食べ物や味付けや食べ方、大きさ、また家の造りなど、ホームステイをしなければ分からないことがたくさんありました。短い時間ではありましたが、さまざまな思い出をつくることができました。

私たちがカナダ研修に協力していただいた足寄町、ウエタスキウィン市の皆さんに感謝します。

ありがとうございました。



尾岸 拓真(1年)

今回のカナダ研修はとっても良い体験になり、本当にとても楽しむことができました。そして、自分が成長できると思う体験ができました。

カナダに研修する前の日まではほとんどの人が不安や心配でいっぱいでした。しかし実際にしてみると、ホームステイ先の家族やいろいろな人たちが温かく迎え入れてくれました。そのおかげで、とても安心して過ごすことができました。

カナダ研修の前には、不安や心配があったのに、最終日には「もっとここにいたい。また来たい!」と言っていました。

今回の研修で、私たちはたくさん思い出を作ることができました。さまざまな「支援をいただき、本当にありがとうございました。」と書いてきました。



国際理解教育の集大成に



藤代和昭教育長

この海外研修派遣事業には、現地体験研修を通じた国際理解の推進と足寄高校の振興という2つのねらいがあります。

総勢50人にもなる大規模な訪問団の派遣は本年度が初めてであり、この事業の成否を分けるのはもちろんウエタスキウィン市の受け入れでした。当初の心配をよそに、ウエタスキウィン市滞在中、市長や市議会、ウエタスキウィン・足寄友好協会などの関係者はもちろん、現地日本人ボランティアや一般市民の方など、本当に全市を挙げての温かなもてなしをいただきました。これも20年以上にも及び両市町の友好交流のたまものだと実感しました。

高校生という多感な時期に、ホームステイなどを通じ、カナダの文化や温かな人々に触れ合えたことは、子どもたちの今後の人間形成にもきつと良い影響を与えるものと思います。

祝 全国大会出場

足寄高等学校(佐藤振一郎校長)の弓道部女子が第35回北海道高等学校弓道選抜大会北海道大会(10月12日、13日・旭川市)女子団体の部で第1位に輝き、見事全国選抜大会出場の切符を手に入れました。同部の全国大会出場は、平成13年以来、実に12年ぶりとなります。

北海道大会に出場したのは、2年生の伊藤千佳子主将、金澤姫香さん、飯田ゆめかさん、先輩をサポートした1年生の村上華奈子さんの4人。

12月21日から23日にかけて大阪府で行われる全国大会での優勝を目指し、日々練習に励む選手たちに大会への抱負などをお聞きしました。

伊藤千佳子主将

「全国大会では平常心を心掛け、みんなで楽しみながら戦ってきたいです」

金澤 姫香

「1本1本集中して、丁寧に自分たちの射ができるように



(写真左から)伊藤主将、金澤さん、飯田さん、村上さん

頑張ります」

飯田ゆめか

「2本以上は(的に当てることを)目標にし、2人の足を引っ張らないようにしたいです」

村上華奈子

「一緒に参加できれば、全力で先輩たちをサポートできるように頑張ります」

今後の課題としては、小中高における国際理解教育の体制づくりが挙げられます。

この海外研修派遣事業が町の学校教育における国際理解教育の集大成と位置付け、それに向けた取り組みができれば、もう一つのねらいである『足寄高校の振興』をより一層図ることができると考えます。

「この事業を、子どもたちにとって『行ってよかった』、保護者の皆さんにとって『行かせてよかった』、そして実施主体である教育委員会として『やってよかった』と言えるものにしていきたいと考えています。」

良き人材を育てる



佐藤振一郎校長

足寄高校として、この海外研修派遣事業は生徒たちが自分と他者の違いを受け入れ、広い視野で物事を捉える力を身に付ける素晴らしい機会と考えています。

もちろん、初めはただで海外旅行に行けるなどと考えていた生徒もいたと思いますが、教育委員会主催の事前研修会のほか、英語の授業やホームルームの時間を利用した独自研修を通じ、生徒個々による参加目的の明確化を図りました。

ホームステイ初日のころは緊張でうつむきがちだった生徒たちも、2、3日目には、笑顔いっぱい余裕も感じられ、最終日にはホームステイ先の家族との別れを惜しんで涙する生徒も多くなりました。この研修を通じ、生徒たちは多くの貴重な経験をすることができました。

この事業の実施に当たっては、町から研修費用の助成をはじめ、さまざまな支援をいただいています。生徒たちには、人に何かしてもらったら倍してお返しするとの意識を持ってほしいです。また足寄町に対して何ができるか考える良いきっかけとなったのではないのでしょうか。

日本や世界各地で活躍する先輩たちのように、10年後、20年後素晴らしい人物となり、足寄に対し恩返しをしてほしいと思っています。

この事業は、良き人材を育てることに拍車をかける一つになると思います。

足寄中学校第65回文化祭 (9月29日)



文化祭テーマ「魂の乱舞!響き渡る絆の旋律」



10.13 秋の味覚を楽しむ

足寄の秋の味覚を販売する第12回大収穫祭・秋の物産市（あしよろ観光協会主催）があしよろ銀河ホール21前イベント広場で開かれ、町内の農家や商店など23店が出店しました。会場には、収穫されたカボチャやジャガイモなどの秋野菜のほか、パンや陶芸作品なども販売され多くの人買い物を楽しみました。



10.14 自己ベストを目指して

第34回町民マラソン大会が陸上競技場で開催され、幼児から一般まで246人が参加。爽やかな秋晴れの下、各部門に分かれた選手たちは沿道からの声援を背に、熱い戦いを繰り広げました。また、同時に開催された第19回町民ウォーキングには20人が参加し、出合いの森などで心地よい汗を流しました。



10.17 児童手作りのお祭り

大誉地小学校（山本勇二校長）で「いしやまワールド」が行われ、保護者や地域住民、上利別保育所の子どもたちのほか、芽登小学校、螺湾小学校の児童が訪れました。この催しは、児童会が中心となって企画したもので、参加者は趣向を凝らした児童手作りのすごろくやコイン落としなどを楽しみました。



10.19 ふるさとに思いを寄せて

第34回東京と足寄を結ぶ・ふるさと会（森正司会長）が東京都新宿区内のホテルで開かれ、本町にゆかりのある方など55人が参加しました。参加者は、おいしい料理を囲みながら、懐かしい旧友や先輩、後輩とふるさとの思い出や近況を報告し合うなど、楽しいひとときを過ごしました。

写真をご希望の方は広報広聴担当まで



10.1 認知症を支える

認知症講演会が町民センターで行われ、北海道認知症グループホーム協会会長を務める宮崎直人氏が「笑う門にはケア来る～一日一笑のすすめ」と題し講演を行いました。宮崎氏は「例え認知症があろうとなかろうと、人は人。人をしっかり支えていく、そんな地域や国にしていきたいと思います」と呼び掛けました。



10.5 社会福祉のために

第26回チャリティー「赤十字ふれ愛」バザールが町民センターで開かれ、約150人が訪れました。会場には町民から提供された衣類やバック、日用品などがいっぱい並べられ、お気に入りの品を求める人たちにぎわいを見せました。なお、このバザールの益金は社会福祉のために活用されます。



10.8 5000haを達成！

（独）森林総合研究所森林農地整備センター札幌水源林整備事務所（本郷文哉所長）主催による水源林造成事業5000ヘクタールを記念した植樹祭が町大誉地地区で行われ、関係者や大誉地小学校児童ら約80人が参加。カラマツ210本を植樹したほか、児童らがタイムカプセルを埋設し、節目を祝いました。



10.11 介護の疲れを癒す

足寄町介護者の会（管野正夫会長）によるリフレッシュ事業が町内飲食店で開催され、21人が参加。この事業は、介護している方の心身のリフレッシュと参加者同士の交流などを目的に実施されています。参加者らは「ともに支え合う介護へ」と題した講話を聞いた後、日ごろの介護に対する悩みや苦勞を話しながら、交流を深めていました。



阿寒国立公園内にある湖オンネトーを舞台に「2013オンネトー物語」(町、あしよる観光協会、北海道新聞社帯広支社主催)が9月29日、オンネトー開設野営場で開催され、町内外合わせて約1,000人が訪れました。オンネトーの散策路で自然を満喫する「自然ふれあい教室」では、雌阿寒岳登山コースやオンネトー湖岸遊歩道コース、湯の滝遊歩道コースの3コースに分かれ、参加者は森林浴を楽しみ心地良い汗を流しました。また「オンネトーフォトコンテスト」には道内外から計158点もの作品が

寄せられ、最優秀賞には美幌町の伊原薫の「秋彩」が選ばれました。会場では農産物・特産物販売コーナーが設けられ、パンやお茶、地元産野菜が販売されたほか、足寄町産のジャガイモやカボチャ、温かい豚汁などが無料で振る舞われるなど、来場者は足寄町の味覚を楽しみました。メインイベントの「オンネトーコンサート」にはロケットシスターズ(札幌市)とオヤジたちのララバイ(足寄町)が出演し、澄んだ美しい歌声や力強い演奏で会場を魅了しました。

■手当にかかわるお知らせ

児童扶養手当・障害者福祉に係る手当の支給月額が変更になりました

■児童扶養手当

【支給月額】 全部支給 41,140円(旧41,430円)
一部支給 41,130円～9,710円(旧41,420円～9,780円)
※扶養者の所得により異なります。

■特別児童扶養手当

【支給月額】 1級月額 50,050円(旧50,400円)
2級月額 33,330円(旧50,050円)

■障害児福祉手当

【支給月額】 14,180円(旧14,280円)

■特別障害者手当

【支給月額】 26,080円(旧26,260円)

※これらの手当は全ての対象世帯に支給されるものではなく、役場福祉課窓口において申請をし、審査の結果支給決定通知を受け取った方へのみ支給されています。申請をしても受給要件を満たしていない場合は、支給が認められません。また、申請を行う際は住民票や所得証明書を提出していただく必要があります。

詳細 役場福祉課保健福祉室福祉担当 ☎25-2141内線144

消費生活Q&A
おしえて、石井ちゃん!



石井布美子消費生活相談員

第13回

今月はいつもと趣向を変え、消費生活に関するクイズをいくつかご紹介いたします。ぜひ、肩の力を抜いてチャレンジしてみてください。
また「こんなもの知ってるよ!」という方もいらっしゃるかもしれません。どうぞ最後までお付き合いください。

Q1

通常の場合、賃貸住宅を退居するときに借主が修理費用を負担するものはどれ?
①入居時から染みの付いていた壁紙
②畳の上にたんすを置いていたため、そこだけが日焼けせずに残ってしまった畳一畳分
③借主の不注意で雨が吹き込んだためにできたフローリングの色落ち

Q2

未成年者が結んだ契約で、取り消すことができるのは次のどれ?
①親の承諾を得ないで契約した英会話教室
②20歳と年齢を偽り契約したエステ
③お小遣いで買ったアクセサリー

Q3

「ずし」の出前を頼む場合「契約が成立する」のは次のうちのタイミング?
①電話ですししを注文し、お店が承諾したとき
②ずしが届き、代金を支払ったとき
③ずしを食べたとき

Q4

貸金業者からお金を借りる時の条件として、間違っているものはどれ?
①お金を借りる前に保証金を支払う
②借入総額は年収の3分の1まで
③専業主婦は配偶者の同意書が必要

Q5

災害時につながりやすい電話は、次のどれ?
①家の固定電話
②携帯電話・スマートフォン
③公衆電話

答え

A1…③

賃貸住宅を退去するときには、借主は借りた部屋の原状回復(元の状態に戻す)義務がありますが、その範囲に自然損耗分は含まれないとされています。自然損耗とは、通常の生活を営むことによって生じる汚れのことで、②はこれに該当すると思われるので、①は入居時からの汚れなので、費用を負担する義務はありません。

A2…①

20歳に満たない未成年者の場合、親(親権者)の同意を得ずに結んだ契約は、取り消すことができます。しかし、20歳以上とうそをついた場合やお小遣いの範囲内の契約は取り消すことができません。

A3…①

売り手と買い手の意思が一致し、商品と代金のやり取りを約束すると契約は成立します。Q3で両者の意思が合意されたのは、電話注文したずしをお店が承諾したときになります。また、契約書に印鑑を押さなくても、口約束で契約は成立します。

A4…①

貸金業法が改正され、借入総額は年収の3分の1までに制限され、専業主婦は配偶者の同意書が必要となりました。一方、お金を借りるために保証金を支払わせようとするのはヤミ金融の手口なので、絶対に利用してはいけません。「低金利」「即日融資」などの甘い宣伝文句にも要注意!

A5…③

災害が起きたときは公衆電話は一般回線より優先的に回線が確保されます。また、災害時には被災地の公衆電話は無料で使えます(国際電話には使えません)。スカイプ(無料電話ソフト)など、インターネットによる通信も比較的つながりやすいと言われています。

いかがでしたか。

もっと知りたい、学びたいという方には、他のクイズも相談所で用意していますので、興味のある方は気軽にお問い合わせください。

詳細 役場住民課住民生活担当

☎25-2141内線222

前略 足寄消防署より

今月は救急に関するお話です。

サイレンが鳴ると「救急車や消防車が出動していたけれど、何があつたのかなあ？」などが話題に上りますが、**救急出動、救急隊、救急車**

とは何でしょうか。

一般的には「救急」「救急出動」などと表現しますが、法律用語としては「救急業務」という言い方をします。

【救急業務】

消防法の中で「救急業務」とは『医療機関に搬送する必要性のある傷病者を救急隊によって医療機関に搬送すること』とあります。

ひねくれた見方をすると「医療機関に搬送する必要が無いと判断された傷病者は、救急出動をしないか、あるいは出動しても医療機関に搬送しない」ということになりません。

この話題は、非常にデリケートな内容になりますので、別の機会にお話ししたいと思います。

【救急隊】

法的には、救急隊員3人（隊長・機関員・隊員）と救急車などの緊急車両を含めて、救急隊といえます。出動要請の内容によっては4人以上で出動することもあります。また、病院間搬送などでは、医療機関の有資格者が乗車することで、救急隊員が2人に減数できる場合もあります。

救急隊員になるには、半年間の初任教育を修了した後、消防学校における『救急科（2カ月間）』の研修を受ける必要があります。ここでは、傷病の理解の基礎となる、解剖学、生理学はもちろん、各病態の理解とその応急処置について学びます。

【救急車とは】

救急車は白ベースの塗色で、赤色の警告灯を回し、サイレンが鳴る自動車というイメージではないでしょうか？

これらはご想像の通り、法律で定められています。救急車の色合いは、赤十字の配色が起源のようで、世界的に同様の配色傾向が強いようです。最近では赤と白が半々で、消防車と救急車の一部の機能を備えている消防救急車（通称「消防車」）などというものも登場しています。

詳細 足寄消防署 ☎25-2619

インフルエンザに注意しましょう！

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。

流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。インフルエンザの感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

自分でできるインフルエンザ対策

・十分な栄養と休息を取る

体の抵抗力を高めるために、日ごろから十分な栄養と休息・睡眠を取るようにしましょう。

・室内の湿度を適切に保つ

室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50%～60%）を保ちましょう。

・手洗い、うがいを

帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。

また、うがいには口やのどを洗浄するだけでなく、のどの粘膜を潤して、ウイルスへの防御機能を高めます。

・咳やくしゃみの症状があるときはマスクを着用してウイルスの飛散を防ぎましょう。

・予防接種も効果的

インフルエンザワクチンの予防接種には発症をある程度抑える効果や重症化を予防する効果があります。インフルエンザの流行のピークは例年1月から3月頃です。ワクチンの効果が現れるまでに2週間程度かかるため、12月中旬ごろまでに接種することが適当です。なお1歳から12歳の方は2回、13歳以上の方は1回接種することが必要です。

― 予防接種費用を助成します ―

町では、次のとおり予防接種費用の一部を助成します。

対象

- ① 中学3年生と高校3年生に該当する年齢の方
- ② 60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓または呼吸器の機能障害のある方
- ③ 65歳以上の方

助成額 1,000円

※①、②の対象者には別途お知らせしています。

問い合わせ・詳細

役場福祉課保健福祉室保健推進担当 ☎25-2571

みんなの国民年金

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書が発行されます

社会保険料控除証明書は、年末調整・確定申告まで大切に保管を！

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象です（納め忘れていた平成24年以前の国民年金保険料を平成25年中に納めた場合も納めた年の社会保険料控除の対象となります）。

この社会保険料控除を受けるためには、平成17年3月31日に所得税法の一部を改訂する法律により、支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられています。

このため、平成25年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方は「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が本年11月上旬をめどに日本年金機構本部から送付されますので、年末調整や確定申告の際に必ずこの証明書（または領収書）を添付してください。

また、10月1日から12月31日までの間に今年初めて国民年金保険料を納付された方については、来年2月上旬に送付されます。

なお、ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、ご本人の社会保険料控除に加えることができますので、ご家族宛てに送られた控除証明書を添付の上、申告してください。「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」についての照会は、控除証明書のほがぎに表示されている年金事務所へお問い合わせください。

日本年金機構ホームページ

http://www.nenkin.go.jp

詳細

帯広年金事務所

☎0155-2518113

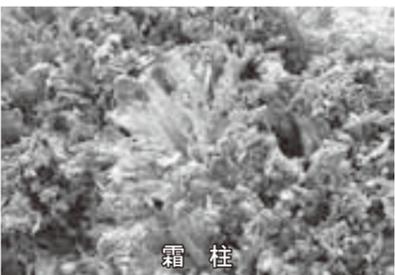
役場住民課住民室戸籍年金担当

☎25-2141内線211

自然探訪

第86回『霜柱と凍上』

（九州大学北海道演習林林長 久米篤）



冬

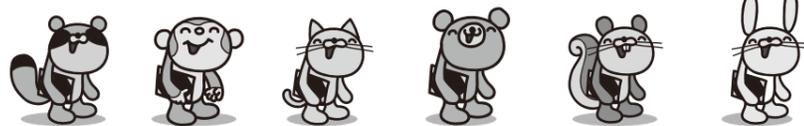
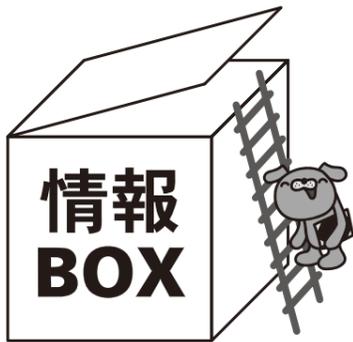
が近づき、冷え込んだ朝には霜柱を

見る機会が多くなります。霜柱は地表面が氷点下まで冷えた時に、地中の水分が毛細管現象によつて吸い出されて柱状に凍結したものです。火山灰土で生じやすく、関東ローム層の広がる関東地方では冬によく見られるため、冬の季語にもなっています。霜柱が生じるには、地中の水分は凍っていない必要があります。しかし、厳冬の足寄では地表近くの地中の水分も凍るため、霜柱は見られず、凍上現象がよく見られます。凍上は霜柱と似ていますが、地表ではな

く、凍っていない水が残っている地中で、レンズ状の水が成長する現象です。土中に何層も重なった氷板は地盤を数cmも持ち上げることがあります。このような土壌の凍結現象は、カラマツやシラカンバなどの1年目の実生の根を切断し、枯らしてしまいます。日当たりの良い開けた場所では、実生が発生しやすいのですが、凍上被害も受けやすいため、春には一面の実生が全滅ということもあります。

詳細 九州大学北海道演習林

☎25-2608



募 集

平成26年度足寄保育園 どんぐり新入園児募集

平成26年度から足寄保育園どんぐりに入園を希望されるお子さんを募集します。年齢によって申し込みの条件がありますのでご確認ください。

募集定員 おおむね180人

・0歳児－2歳児

※生後6カ月から対象となります。

共働きや出産、病気などの理由で家庭での保育ができないお子さんのみが対象となります。

・3歳児－5歳児

※おむつが外れていることが条件となります。

募集期間 11月11日(月)－25日(月)

申込方法

足寄保育園どんぐり(北3条1丁目)にある申込書を提出してください。

詳細 役場福祉課

足寄保育園どんぐり

☎25-2574

自衛官候補生(男子)募集

試験日および試験予定場所

11月24日(日)・12月8日(日)

帯広市(自衛隊帯広駐屯地)

受験資格

平成26年4月1日現在、18歳以上27歳未満の男子

試験種目

筆記試験(国語、数学、社会および作文)、口述試験、適性検査、身体検査

詳細 自衛隊帯広募集案内所

☎0155-23-8718

お知らせ

平成26年成人式参加者および成人祝賀会実行委員募集

町では、平成26年の成人式を次の日程で行います。対象者で足寄町に住民票がある方には、11月中旬にはがきで詳細およびご案内をお送りします。お知り合いに現在足寄町に住民票のない方で、参加を希望される方がいましたら、教育委員会生涯学習室までご連絡ください。

また、成人式式典終了後に実行委員会主催の祝賀会開催を予定しており、祝賀会を盛り上げる実行委員を募集しています。実行委員に参加を希望される方についてもご連絡ください。

開催日 平成26年1月12日(日)

場 所 町民センター

対象者 平成5年4月2日－平成6年4月1日生まれの方

詳細 教育委員会生涯学習室

☎25-3188

11月25日－12月1日は 犯罪被害者週間です

内閣府では、犯罪の被害者を社会全体で支える体制を確立するため、11月25日から12月1日を犯罪被害者週間と定め、各種支援活動を強化しています。皆様のご理解とご協力をお願いします。警察や犯罪被害者等支援団体では、相談窓口の設置や一定の要件に該当する被害者に対し給付制度を設けています。

詳細 本別警察署

☎22-0110

市街地の雪捨て場

降雪による市街地の雪は、平成26年5月31日までの間、大型車両は共栄町に、一般車両は栄町2丁目の雪捨て場に捨ててください。また、車道への雪捨ては除雪や車の走行に支障をきたし、道路法違反になるので絶対にやめましょう。

●栄町2丁目 (豊栄橋下流利別川右岸)



●共栄町 (共励橋下流足寄川左岸)



詳細 役場建設課車両室

☎25-5420

平成25年分 年末調整等説明会

年末調整事務および源泉徴収票、支払調書合計表等の作成要領についての説明会を開催します。

なお、年末調整関係書類は事前に税務署から郵送されます。

日時 11月28日(木) 午前10時－

場 所 あしよろ銀河ホール21

詳細 役場住民課課税担当

☎25-2141内線232

多重債務で 悩んでいませんか

北海道財務局で「多重債務・金融一般無料出張相談会」を実施します。気軽にご利用ください。

日時 11月29日(金)

午前9時－午後5時

場 所 帯広財務事務所

詳細 北海道財務局

☎011-807-5144

足寄百年史

(上・下巻、資料編)

発売中

ご購入は…役場総務課総務室
広報広聴担当まで

本別から

いきいきほんべつふれあい祭り

地域で素晴らしい生涯学習活動を展開している各種団体・サークルが集い、日ごろ培ってきた活動を発信します。皆様のお越しをお待ちしています。

日時 11月24日(日) 午前9時30分－

場 所 本別町中央公民館

内 容

健康づくりコーナー、消費生活コーナー、バザー(うどん・そば)、読み聞かせ、農産品・加工品販売、フリーマーケットなど

詳細

本別町役場企画振興課企画・生涯学習担当

☎22-8121

狩猟期間に入りました

道内には約65万頭(推定)のエゾシカが生息し、エゾシカによる農林業被害や交通事故が増加しています。

今年は、10月1日から平成26年1月31日(エゾシカについては10月26日から平成26年3月31日)までの間、一部地域を除く道内で狩猟が行われます。

仕事や趣味で野山に入る場合には、目立つ服の着用や、ラジオを携帯するなど十分注意してください。

また、林道などを車両で走行する際には、安全運転を心掛けるようお願いいたします。

詳細 役場経済課林業振興担当

☎25-2141内線245

陸別から

「驚き!おもしろ科学実験2013」

実験やミニ講演会など、子どもから大人まで楽しめる内容です。皆様のご来館をお待ちしています。

日時 11月16日(土)

実験コーナー 午後1時－6時

ミニ講演会 午後2時－

場 所 銀河の森天文台(陸別町宇遠別)

内 容

実験「彗星の核をつくろう」ほか

ミニ講演会 講師:第52次南極地域観測隊

磯野靖子さん

※開館中は、通常観望も行っています。

詳細 銀河の森天文台 ☎27-8100

うちの人気者

掲載を希望される方は、役場総務課総務室・広報広聴担当まで

大野 ^{はるか}晏歌^{ちゃん}

(平成23年9月26日生まれ)
歌と踊り、おしゃべり大好き。
最近パズルに夢中です。張り切
って弟のお世話をしてくれる頼
もしいお姉ちゃん。いつもすて
きな笑顔と優しさをありがとう。
周一・朋子^{さん}の子
(南7条4丁目)



山崎 ^{くるみ}來未^{ちゃん}

(平成23年11月19日生まれ)
はだして芝生を駆け回るのが
大好きな來未。この夏は水たまり
でいっぱい遊んだね。ここ北
海道の大地で來未は來未らしく
元気に伸び伸び育ってください。
可以・桃子^{さん}の子
(芽登本町)



松山 ^{こうたろう}眺太郎^{ちゃん}

(平成23年9月23日生まれ)
弟ができて甘えん坊になった
けど、優しいお兄ちゃんっぷり
も発揮してくれます。働く車が
大好き。これからも元気いっば
い笑顔いっばい、走れコータロ
ー。
慶太・勇氣^{さん}の子
(栄町2丁目)



ひとのうごき

10月末の住民基本台帳

人口	7,468人 (-16)
男	3,618人 (-5)
女	3,850人 (-11)
世帯	3,566世帯 (-7)

※住民基本台帳法の改正に伴い、外国人住民
を含んだ数値となっています。

今月の表紙

10月8日に行われた「未来の足寄と森林を
はぐくむ植樹祭」におけるタイムカプセル埋
設のスナップです。

(⇒8ページ)

編集後記

☆先日、息子(小3)と一緒に床屋
さんに行ったときの話です。

☆「どんな髪型にするの?」と聞く
私に、息子は一言「ボウズ」。私
はびっくりして「どれくらい短く
するの?」とさらに質問すると、
照れながら「ツルツルにした〜い」
っていうじゃありませんか。

☆ボウズになった息子を見た方々か
ら「なんか悪いことしたの?」「野
球少年団に入るのか?」などとい
ろいろご質問をいただきますが、
紙面をお借りして宣言します。ボ
ウズは『彼の強い意思』です!

☆でもスキンヘッドは追加料金がか
かるので、速攻断念させました。

広報あしよろ11月号 No.727

発行：足寄町

編集：総務課総務室 ☎25-2141 内線335

〒089-3797 北海道足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1

<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>